

平成 27 年度孤立を防ぐ地域づくり特別委員会報告書 構成案

1 付議事件

身近なつながりや支え合いにより社会的孤立を防ぐ地域づくりの推進に関すること。

2 調査・研究テーマ

横浜市における子供の貧困の予防・解決に向けた取り組みの方向性について

3 本件について調査・研究を行う理由等

学齢期の子供世代における問題に目を向けると、長年にわたる経済の停滞や社会構造の変化の影響を受けた親世代の生活基盤が不安定になったことによる、子供世代の貧困が挙げられる。

社会がこの問題を認識し始めたのは比較的最近のことであるが、国際的にみても日本の子供の相対的貧困率は厳しい状況にあり、国においては平成 26 年に子どもの貧困対策の推進に関する法律を施行し、続いて、子供の貧困対策に関する大綱を策定している。

そこで、当委員会も子供の貧困対策について議論することは時宜にかなうものであり、本市における子供の貧困の予防・解決に向けた取り組みの方向性について調査・研究を行うこととした。

【今年度の最終目標】

調査・研究について議論した結果を本委員会のまとめとして議長宛てに報告を行う。

4 委員会活動の経緯と委員意見概要

- ・委員会活動の実績を記載
- ・参考人の講演要旨等の記載
- ・これまでの委員会における委員意見等を記載

5 横浜市における子供の貧困の予防・解決に向けた取り組みの方向性についてのまとめ

本市における子供の貧困の予防・解決に向けた取り組みの方向性についての各委員意見等をまとめとして記載